

2024年2月26日

株式会社ネクスティ エレクトロニクス

株式会社ジーデップ・アドバンス

ネクスティ エレクトロニクスとジーデップ・アドバンスが モビリティ業界向けに NVIDIA テクノロジーのトライアル環境を 提供開始

～最新 GPU の PoC 環境を国内で提供し、GPU の導入検討を後押し～

豊田通商グループのエレクトロニクス商社、株式会社ネクスティ エレクトロニクス（本店：東京都港区、代表取締役社長：柿原 安博、以下：ネクスティ エレクトロニクス）と、株式会社ジーデップ・アドバンス（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：飯野 匡道、東証スタンダード 証券コード：5885、以下：ジーデップ・アドバンス）は、日本のモビリティ業界で NVIDIA アクセラレーテッド コンピューティングを活用した AI 開発をさらに加速させるため、NVIDIA DGX H100 および NVIDIA AI Enterprise ソフトウェア プラットフォームで構成された NVIDIA の超高速最新 GPU アクセラレーテッド システムを利用し、生成 AI を含むプロダクショングレードの AI アプリケーションの開発・展開を、ユーザーが試せる PoC^{*1} 環境提供サービス「GPU Advanced Test drive(以下：GAT)」を 2024 年 4 月 1 日（月）より開始します。

1. サービス開始の背景と目的

ソフトウェア・ディファインド・ビークル (SDV^{*2}) 時代の到来により、モビリティ業界ではソフトウェア主導の開発価値や重要性が急激に高まっています。とりわけ LLM^{*3} を活用した AI 開発に対する投資が世界中で旺盛になっています。

AI は、自動運転や車室内エンターテインメント、バッテリーマネジメントなど、サービス面で使用されることに加え、自動車をはじめとしたモビリティ製品の開発や製造工程における活用場面も急増しています。そのため、AI 開発のインフラとなる GPU サーバー市場は、近年グローバルで倍増しています。

また、AI の社会実装への需要の高まりから、GPU の高速化、高性能化は日進月歩であり、コスト面も課題です。SDV 時代では、自前の計算力を持つことが企業の競争力向上に結びつくという予測のもと、投資判断の手助けとなる判断材料が必要と考え、本サービスの提供を開始します。

2. GAT の概要

今回発表する「GAT」は、超高速最新 GPU で高速化された NVIDIA DGX システムを占有して試せる PoC 環境提供サービスです。日本のモビリティ業界に End-to-End の AI 開発を支援することを目的とし、ネクスティ エレクトロニクスとジーデップ・アドバンスが共同で提供します。

GAT では NVIDIA ハードウェアだけでなく、NVIDIA AI Enterprise をはじめとする、NVIDIA の GPU にオーソライズされたソフトウェアスタックの検証環境も揃えています。ユーザーは、GAT の最新 AI 開発検証環境を利用することで、投資判断を迅速に行うことができます。

今回提供する GAT の特長と強みは以下 5 点です。

- 1) LLM、デジタルツイン、高精度 CAE※4 など利用者ニーズに最適な、最新で高性能な GPU トライアル環境を複数ご用意
- 2) GAT の検証環境は、最新の NVIDIA DGX システムのリリースに合わせてアップデート
- 3) 豊富なネクスティ エレクトロニクスオリジナル AI 評価環境を手軽に試せる環境を構築
- 4) 仮想環境を用いないベアメタル物理サーバーを期間占有で利用可能
- 5) 機密情報を安心してアップロードできる高セキュア回線のデータセンターでの運用

【GAT を共同提供する 2 社の主な役割】

ネクスティ エレクトロニクス (豊田通商グループ企業連携含む)	<ul style="list-style-type: none">・営業窓口、問い合わせ窓口・データセンターの運営・ソフトウェア開発
ジーデップ・アドバンス	<ul style="list-style-type: none">・NVIDIA DGX システムおよびソフトウェアの調達、導入、運用支援・GPU アクセラレーテッド AI システムの設計、構築、運用支援

3. 今後について

ネクスティ エレクトロニクスの社長である柿原 安博は、「このたび立ち上げる新サービス「GAT」は、最新の NVIDIA GPU を試せる環境を提供します。GAT が、日本のモビリティ業界での最先端 NVIDIA GPU 導入のきっかけとなり、AI 開発の加速を後押しできる新たなサービスとなるよう、パートナーであるジーデップ・アドバンス様とともに取り組んで参ります。」と述べています。

ジーデップ・アドバンス代表取締役 CEO の飯野 匡道は、「スマートシティやライドシェアリングなどサステイナブルな世界を実現するため、いまやモビリティ業界での AI の活用は多岐にわたります。このたび、当社がネクスティ エレクトロニクス様と共同で運営を開始する「GAT」は、AI 開発に必要な最新の NVIDIA GPU と SDK^{※5} に早く触れることが出来る最先端の PoC 環境を提供します。当社は NVIDIA 社のエリートパートナーとして、日本版 MaaS の普及に向けて研究者・開発者の皆さまのお仕事が加速するよう最適な GPU 検証環境の提供に努めて参ります。」と述べています。

また、エヌビディア日本代表 兼 米国本社副社長の大崎 真孝氏は、「ネクスティ エレクトロニクス様とジーデップ・アドバンス様の両社の強みを併せ持つ新サービス「GAT」を提供開始されることにより、AI 開発の加速を後押しすることを大いに期待しています。また、デジタルツインや高精度 CAE ツールにおいても、最新の NVIDIA プラットフォーム環境でスムーズに検証、開発できることはモビリティ業界に新たな変革をもたらすでしょう。」と述べています。

ネクスティ エレクトロニクスとジーデップ・アドバンスは、常に最新の AI 開発環境を整えることで、日本のモビリティ業界の AI 開発を加速させ、豊かな社会づくりに貢献していきます。

※1: PoC(Proof of Concept):新しいアイデアや技術の実現可能性を検証すること

※2: SDV(Software Defined Vehicle) :価値や性能、進化がソフトウェアによって定義された自動車

※3: LLM(Large Language Model) :大規模言語モデル。生成系 AI 開発で幅広く使用されるモデル

※4: CAE(Computer Aided Engineering):コンピュータを利用した工学支援システムのこと

※5: SDK(Software Development Kit) :特定のシステムに順応したソフトウェアを開発するために必要なプログラムや文書などがパッケージ化されたもの

【今回 GAT で使用する NVIDIA DGX H100 システム】



【会社概要】

■ネクスティ エレクトロニクスについて

会社名：株式会社ネクスティ エレクトロニクス

所在地：東京都港区港南 2-3-13 品川フロントビル

ネクスティ エレクトロニクスは、豊田通商グループのエレクトロニクス商社として、車載分野ではトップクラスの規模を誇ります。自動運転などの最先端技術を、他の産業分野に積極的に展開することで、技術・商材を中心に、幅広い分野でお客さまや社会のニーズに応え、社会課題の解決に貢献しています。また、豊田通商グループのグローバルネットワークを活用し、地域や分野を超えた最適なソリューションを提供しています。

詳細につきましては、以下をご覧ください。

ネクスティ エレクトロニクス HP: <https://www.nexty-ele.com/>

■ジーデップ・アドバンスについて

会社名：株式会社ジーデップ・アドバンス

所在地：東京都中央区晴海 1-8-12 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ 棟 5 階

株式会社ジーデップ・アドバンス（東証スタンダード、証券コード：5885）は、「Advance with you」をミッションに、GPGPU をはじめとするアクセラレーターやハイエンドワークステーション、広帯域ネットワークや高速ストレージを用いたクラスターシステム、さらにライブラリやコンパイラ、ジョブスケジューラなどの運用ツールの提供構築から運用支援

まで、仕事や研究を前に進めるための手段をオンプレミスやレンタル、クラウドなどあらゆる形態で総合的に提供する AI とビジュアライゼーションのソリューションプロバイダです。NVIDIA 社パートナー認定制度「NPN (NVIDIA Partner Network)」においてエリートパートナー認定を受けて活動しています。

ジーデップ・アドバンス HP: <https://www.gdep.co.jp/>

【お問い合わせ先】

■株式会社ネクスティ エレクトロニクス

戦略企画部 コーポレートコミュニケーショングループ

電話：03-5462-9666

■株式会社ジーデップ・アドバンス

ソリューション部

E-mail：sales@gdep.co.jp